

学年・学級委員会活動の手引き



1 学年・学級委員会の役割

学年・学級委員会の主な役割は「学年内あるいは学級内でのPTAの運営」です。

学年・学級委員は学級(学年)内での子どもたちに関する課題を共有し、共に考え、必要に応じて解決する場をもちます。委員は「教師と保護者のパイプ役」「学校やPTAに対する意見や提言を汲み上げる」といった役割が求められます。実りある場とするためにも、学級内のPTA会員同士が日頃から交流を深め、お互いにコミュニケーションをとりやすい雰囲気作りをすることも大切な役割のひとつです。

他にも上記のような役割を円滑にこなすためには、学級の担任はもちろん学年主任や教務主任など教員であるPTA会員とも日頃からコミュニケーションをとることを心掛けましょう。

また、「PTA会員とPTA全体との直接的なパイプ役」として、学級代表の委員もしくは学年代表の委員が運営委員会(※)に出席し、意見や提言をすることもあります。

※三役(会長・副会長・会計)及び各委員会の正副委員長から構成される委員会。月1回開催。

2 学年・学級委員会の主な活動

最初に、学校の年間計画をもとに一年間のスケジュールを立てます。学年・学級委員会の開催日や学級懇談会の日程、『委員会だより』の発行スケジュール、学年・学級委員会が主催する行事や協力する行事などの予定について話し合い、決めていきます。

では、学年・学級委員会の具体的な活動について考えてみましょう。

まず、課題を共有する一般的な場として学級懇談会があります。その企画・運営は学級委員の役目です。そのほか、会員同士の交流を目的とした懇親会や、子どもも含めて行う学年集会を学級担任と一緒に開催することもあります。また、課題を解決するための学習会(成人委員会主催で開催されることが多い)を、学級懇談会や学年集会で行うこともできます。もし、緊急性のある課題が発生した場合には、学年・学級委員は予め決められている日程以外でも、学級懇談会を開きPTA会員を招集することができます。学級懇談会で解決できない場合、同じ学年の学年・学級委員と話し合い、学年集会を招集・開催することもできます。その後、順次PTA全体で協議し解決の道を模索しましょう。

『委員会だより』は、学年・学級委員会の様子を掲載し、PTA会員の方々に学年・学級委員会の活動や子どもたちの様子を知ってもらい、委員会活動への理解と協力を促すために発行します。PTA会員と学年・学級委員とを結ぶ大切なコミュニケーションツールとして有効に活用しましょう。

これらの活動以外にも地域や学校、小学校・中学校の違いもありますが、学年・学級委員はそれぞれ多岐にわたる活動を行っています。学校行事や学習活動への参加・支援、またそれらの調整役としての役割を担っているケースもたくさんあります。次ではいくつかの活動事例をご紹介します。

3 学年・学級委員会の活動事例

…マークの説明…

- 学年・学級委員会の主な活動
- 学年・学級委員会が参加または協力している活動

小学校の事例1

- 学年集会(親子ふれあいタイム)の計画・実施
- 委員会だよりの発行
- 委員会年度計画の策定
- 学年あるいは学級レクリエーションの開催
- 学年委員会だよりの発行
- 卒業アルバムに関するアンケートの実施および集計結果の発行
- 給食試食会の実施
- PTA活動研修への参加
- PTA主催懇親会への協力
- 学校行事・バザーへの協力
- PTA総会への協力(受付)

PTAとは

PTAは、Parent-Teacher Association の略です。子どもを大切に思い、子どもを愛する心、この心に発して、だからこそもっとよい親にならなければならない、だからこそもっとよい教師にならなければならない。と思う その心と心との結びつきがPTAです。何を企画し、何を話し合い、何をやるにしても、それが子どもたちの健全な成長と幸せを願えばこそというPTAの原点を常に念頭におき、いかなる活動のあとでもそれが子どもたちの幸せな成長にどれだけの意味があったか反省することが、PTA活動を健全に進めるために必要です。PTAには以下の基本的な特徴があります。

① PTAは学び合う場である。

よりよい父母、よりよい教師になるために、お互いに励まし学び合います。

② PTAは子どもの育成団体である。

子どもたちのすべての幸せを願って、子どもたちを健全に導きます。

③ PTAは子どもの生活環境の整備につとめる。

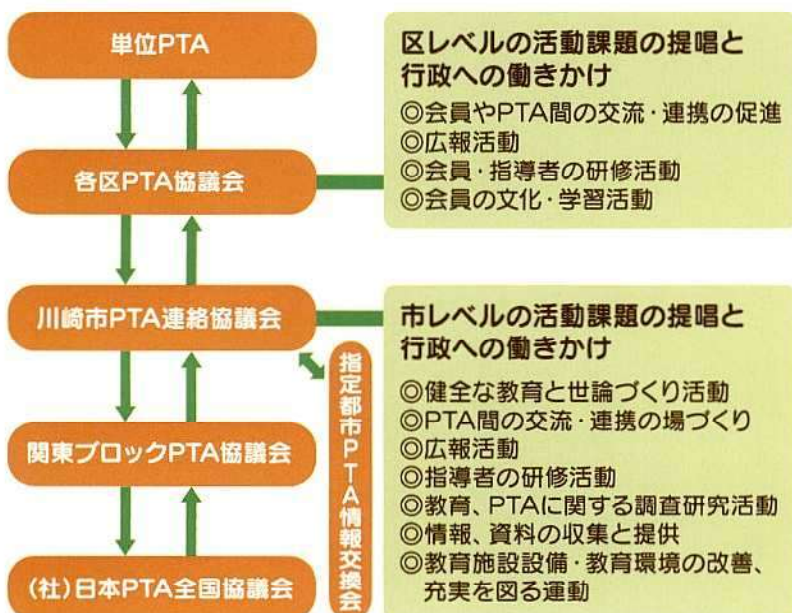
子どもを取り巻く、学校、家庭、地域社会の環境整備に努めます。

④ PTAは世論集団である。

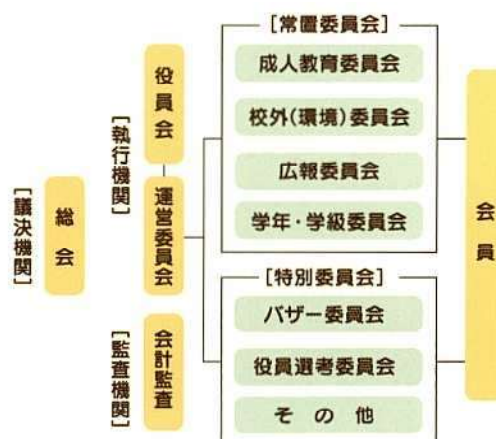
PTAは最大の成人組織です。子をもつ全ての人がいづか一度は、PTAの会員になるといっても過言ではありません。世論作りに大きな力をもつPTAは、日本の教育の健全な世論源となる責任があります。

PTAの組織

川崎市においては、各学校のPTAを基本単位として、区単位で、または全市単位でPTAの活性化を図る区PTA協議会と、市PTA連絡協議会があります。区PTA協議会は教育文化会館や各区の市民館と、また市PTA連絡協議会は教育委員会と、密接な連携を取りながら、PTA活動の発展に努めています。



各学校のPTA(=単位PTA)は、各委員会活動と、役員会、運営委員会、総会などの組織によって活動しています。下の図は、一般的な単位PTAの組織です。委員会の委員、役員などを決めるにあたっては、クラス単位で選出している学校、学年ごとに選出している学校、地区ごとに選出している学校など、学校の規模や、地域性によって様々です。



教育文化会館・市民館 PTA 活動研修資料「学年・学級委員会の手引き」

平成25年3月31日 発行

編集 教育文化会館・市民館・分館 PTA各委員会の手引き作成プロジェクトチーム

発行 川崎市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課